

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか
		法令に遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか
		法令の指定基準を遵守して配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか
		賃貸物件を改装し使用している関係上、完全とは言えませんが、出入り口やお手洗いスペースに関してはバリアフリーを配慮しています。

業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか
		毎月、全事業所合同のスタッフミーティングを行い、PDCAサイクルの確認、振り返り、実施に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか
		定期的にアンケート調査を実施し、結果報告と共に保護者様との意見交換会を実施し、業務の改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか
		ホームページで公開し、保護者様にもその旨をメールにて伝えていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
		現在、二者間評価（ご利用者様・法人内）をとっていますが、必要に応じ第三者による外部評価も検討していきます。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	
	法人内での研修を定期的実施するとともに、外部研修（特に京都市からの推薦によるもの）にも積極的に参加できるよう、案内と機会の確保を行っています。	

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか
	必要に応じ個別面談を行い、取り組みや課題を確認した上で作成・署名・押印をいただいています。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか
	統一したアセスメントシートや社会能力目安表を、個別支援計画の内容見直し時期に合わせてお渡しし状況の把握に努めています。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか
	毎日のミーティングでアイデアを出し合い、チームで立案・実施しています。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか
	毎朝のミーティングで、その日ご利用されるお子さまの状況や必要に応じ、マンネリ化や偏ったプログラムにならないよう変化を加えつつ工夫して取り組んでいます。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか
	短時間でも充実した取り組みができるよう工夫しています。また土曜日や長期休暇時は、課外学習（お出かけ）を多く取り入れ充実を図っています。またライフスキルや特別カリキュラム・特別プログラムなどを準備しています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか
	お子さま自身のスキルの向上と共に、他者との関わりにおいても重点を置き、バランスよく支援していけるよう計画し、作成しています。
15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか
	毎朝ミーティングを実施し、その日の支援内容や担当の確認をしています。特に当日ご利用されるお子さまの特性を把握し、役割分担とともに人員を配置しています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか
	送迎等の関係上、療育後のミーティングは行っていません。ただ緊急の場合などは電話で、そうでない場合は翌日のミーティングで申し送り事項を述べ、共通理解を図っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
	事業所においては議事録を記録し、お子さまに対しては毎回のご利用時の様子や支援内容を記録し、改善につなげています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか
	個別支援計画の見直し時期に合わせてモニタリングを行い、個別支援計画の内容調整や変更の必要性を判断しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか
	療育内容が偏ったり固定化したりしないよう、多面的な療育を目指しています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
		サービス担当者会議には、管理者、児童発達支援管理責任者、または指導スタッフの中から、お子さまの状況を最も良く理解している者が適宜参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか
		学校により対応は異なります。保護者様の許可のもと学校と事業所間で直接情報を共有できる学校もありますが、保護者様と学校間での情報を保護者様からお聞きするという形の学校もあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか
		必要に応じ主治医による意見書などのご提出をいただいています。また契約時に「かかりつけの医療機関」をご記入いただき緊急搬送先の把握や緊急時の対応などの把握に努めています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか
		必要に応じ、保護者様から引継ぎ資料をご提出いただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか
		保護者様や進路先からご要望があった場合、双方同意の上、ケース会議などにおいて情報提供をさせていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか
		ご利用いただいているお子さまの必要や場面に応じて、適宜、相談や助言をいただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか
		現時点では、そのような機会はありません。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか
		積極的には参加していません。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	
	連絡帳やご利用時の支援の記録や写真、また送迎時にお子さまの様子をお伝えし、共通理解の保持に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	
	ペアレント・トレーニング等の支援は行っていないですが、事業所内での気づきや成功体験などをその都度保護者様にお伝えしています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
	30	契約時に重要事項説明書などを通して、支援内容や利用者負担額について説明させていただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか
	31	保護者様からお聞きした相談等に対して、連絡帳や電話または送迎時にお話ししています。また内容によって面談の場を設けさせていただき、支援の方向性などを話し合っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか
	32	開所当初から意見交換会や懇親会を実施し、保護者様との交流の機会を用いています。またみつより合同クリスマス会や夏のBBQなど、ご父兄参加型イベントの企画・実施を行っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか
	33	苦情対策責任者や苦情窓口を設けており、迅速かつ丁寧に対応できるよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか
	34	一般社団法人みつよりのパンフレットや刊行紙を発行し、特別行事や事業所内の変更事項等を含め、全事業所のスタッフ紹介や活動状況などを案内しています。また、毎月の行事予定は、利用予定表などの配布物やメールにてご案内しています。
	35	個人情報に十分注意しているか
	35	あらゆる個人情報の取り扱いに対し、注意しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
	36	ご利用時の療育内容をメールにてお送りする際には、できるだけ多くの写真を添付しています。より具体的に理解していただけるよう努めています。また、ご利用されるお子様の理解に合わせて写真やイラストカードを使ったスケジュールの説明や、意思伝達のために必要なカードを用いています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	
37	地域の皆様を対象としたプログラムやイベントの実施は行っておりませんが、ゲストとしてお迎えし交流を図っています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか
		事業所ごとに策定しスタッフは周知していますが、保護者様に対し周知していただく事はしていません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
		最低半年に一度、地震・火災などを想定した避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
		事業所ごとに虐待防止責任者を選定するとともに、虐待防止に関する研修に参加し、全体ミーティングで報告と情報の周知を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか
		身体拘束については、法人内での研修でスタッフ間での共通理解を確認し、各事業所の事情の応じ話し合い決定しているが、現時点でそのような対応が必要なケースは発生していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
		契約時にお子様のアレルギーの有無をお伺いし、スタッフ間で周知し、アレルギー物質に接触しないよう確認と見守りを徹底しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	
	開所から現在に至るまでのヒヤリハットをまとめており、書面作成時には全スタッフの確認と記名を徹底し再発防止に努めています。	

